

1 目指す学校像

教育目標のもと全教育活動をとおして、

- (1) 学びをとおして、明朗で礼儀正しい品格を磨き、頑健な心身を作る
- (2) 学び心を育て、表現力、眼識力、思考力を育成する
- (3) 高い志をもち満身の力でゴールを目指し、一人ひとりが主人公となる

を経営目標に、教職員が一丸となって取り組む。

その具現のための重点として、**あ い う え お** の小さな森を創造する。

あいさつ (挨拶) のある学校 家庭・地域との連携で、人と人とのふれあいの基本「あいさつは心の扉」、**あ** あかるく **い** いつも **さ** さきに **つ** つづけて、を日常の生活習慣とし根付かせ、あいさつの通う森とする。

いのち (命) を大切にする学校 この世で一番尊いもの、かけがえのないものは「命」。生きていることの幸せを感じると共に、感謝の心を忘れない。そして、自分の「命」を大切にすると共にお互いの「命」を大切にする森とする。

うた (歌) のある学校 「心に太陽、唇に歌を」と言われるように、うれしいとき、悲しいとき、楽しいとき、苦しいとき、「音・ことば・声」は心を癒す。学校内外で「歌声や演奏」、そして美しい「ことば」の響く森とする。

え (絵) のある学校 保護者がいつ学校に来ても生徒の成長がみえる生徒作品の展示。先生方の指導がわかる、普段の学習成果の日常化を目標に、掲示教育・鑑賞教育・環境教育を学校全体で行い、生徒の居場所をつくる森とする。

おとな (大人) の協力のある学校 生徒の健全育成の実現は、今や学校の教職員だけでは難しい時代となった。学校・家庭・地域（関係諸機関・関係団体等）の三者の連携で健全育成の実現がある。地域に生まれ、地域で育ち、地域に生きる生徒、地域の現在・未来の宝となる生徒のために、本校の各行事等に多くの皆様が参観していただき、ご支援・ご協力をお願いいたします。「学校を見守ってくださる大人の集う森とする。」

2 本校の現状と課題

大田区教育委員会教育目標及び、おおた教育ビジョン等を踏まえ生徒一人一人に確かな学力の定着、体育活動の充実、心の教育（道徳教育等）を身につける学校教育を推進する。

- (1) 学習指導講師・特別支援員等の活用で、家庭学習指導・補習学習教室・特別支援教育の充実を図る。
- (2) 移動教室、職場体験、環境教育等、体験活動の充実を図る。
- (3) 学校支援地域本部事業の企画・運営・実施で生徒の健全育成を図る。

3 学校経営目標（重点目標の設定）と方策

(1) 中間的目標と方策

教育環境には自然・人的・施設・地域等、幅広い環境がある。現在の環境教育はエコやゴミ、温暖化問題等、地球環境に重点が置かれているが、生徒の規範意識、学ぶ喜びを感じる教育環境を整え、生徒の健全育成を図っていく。

(2) 今年度の目標と方策

① 学習指導の充実で学力向上を図る

- ・ 生徒が興味関心をもち、主体的に取り組む授業の実践。教員の指導力を高める研修を行うと共に生徒の学力向上や道徳教育の推進で礼儀正しく心豊かな生徒の育成を図る。
- ・ 朝学習の時間等を活用し、読書活動。また、各種コンテストや各種検定学習、補修等を実施し、基礎学力の定着と自ら進んで学ぶ態度、表現力、眼識力、思考力を養う。

- ・ 個性の伸長、個に応じた学習指導の工夫と改善を行うため同教科及び教科間のチームワークを大切にされた指導を推進する。（習熟度別少人数、道徳 TT 等）
 - ・ 各種学習状況調査をもとに**教育相談（三者面談）**を活用し、学習課題等を明確にし学習方法について指導し、基礎学力の定着と学力向上を目指す。
 - ・ **A L Tの有効活用を図り、「聞く」「話す」を重視した指導を展開する。**
 - ・ 「**毎日の家庭学習～学習のしかた～**」を作成・活用し、家庭における復習・予習の**家庭学習（自主学習ノート）**を定着させ、**学ぶ喜び・わかる喜び**を味わわせる。
- ② **生活指導の充実で望ましい人間関係を育てる**
- ・ 基礎・基本の生活習慣を家庭と連携し明確に指導すると共に、場に応じた礼儀・服装・言葉遣い等を明確に分け、礼儀正しい態度を身につけさせる。
 - ・ 生徒の良い点を見つけ、認め、励まし、生徒の**自己肯定感、自己有用感**を育てる。
 - ・ 生徒の心に寄り添った肯定的な需要と理解の指導のために、不登校生徒・特別支援生徒等、配慮を要する生徒の研修を行い、全教職員で共通理解を深める。
 - ・ 望ましい人間関係の育成のために、教職員全員が担任であるという意識に立ち、道徳、学級活動、給食指導等に担任だけでなく副担任も加わり、全体で指導にあたる組織づくりをする。清掃活動は生徒と共に汗を流し、積極的に生徒の中に入って指導する。
 - ・ 授業、学級活動、相談活動、行事、生徒会活動、委員会活動、部活動等、教職員と生徒のふれあいを多くし、生徒の人間関係の把握に努める。
- ③ **教職員の資質向上**
- ・ 授業や校務の充実のため、指導案の計画立案、年間指導計画の作成、教材研究、指導法の共通理解、校務分掌の計画・実施、校内外研修等を真剣に行う。また、教育活動全般についての自己研鑽とお互いの交流を活発にする。全教科で ICT を活用した研究授業及び道徳、特別支援の研究授業を実施する。
 - ・ 日々の教育の取組を大切に、一生懸命やっていく。そして、その姿がわかるように保護者に伝えていく。（教科作品展示・行事等の成果掲示、各種コンクール出品等）
 - ・ 生徒に要求することを、教職員自らも実践する。（清掃・整理整頓指導→自分の教室や机上。約束や時間を守る→会議や授業の開始時刻。提出物の期限を守る）
 - ・ 社会人として当然なことは、教職員にも当然要求されているという常識に立つ。公務員としての自覚、教職員としてのプライド、モラル、基本的行動様式を確かにもつ。
- ④ **学校・保護者・地域との連携に努める**
- ・ 道徳・特別活動・総合的な学習等を活用し、地域の自然や文化、人々との関わりを大切にされた学習、心の教育の充実、家庭・地域の連携を強化する。（道徳公開講座、生命尊重講演会、国際理解教育、出前授業、セーフティ教室、保健・安全教育等）
 - ・ ボランティア活動等での体験学習、勤労・奉仕活動等を全校の教育活動として定期的に行い、生命の尊さや生命を大切にする心、相手の立場を思いやる心、社会に奉仕する心等、眼識力を養う。（職業・福祉体験、地域清掃、地域行事参加等）
 - ・ 小中一貫教育、PTA役員会、保護者会、地域人材活用、関係諸機関等の話し合いや講演等をとおして、学校、家庭、地域の連携・協力を強化する。（PTA祭礼パトロール、A E D・心肺蘇生法講習会等）
 - ・ 学校支援地域本部事業の実施と地域行事等へ生徒の参加・交流を推進する。（ガーデンパーティー・青少対主催行事・地域祭等への参加・交流）
- ⑤ **教育評価・学校自己評価を実施し、教育計画の内容の改善と充実に努める**
- ・ 教育評価の規準を各教科で單元ごとに明確にし、計画的に実施・開示する。
 - ・ 生徒の学習に対する目標を明確に示し、生徒が学ぶ喜びを感じる教育を推進する。
 - ・ 生徒・保護者・学校運営にかかわる地域教育連絡協議会からの学校評価を受けることで、教育計画の内容の改善・充実・向上に努める。
- ⑥ **道徳の時間を要とし、全教育活動で道徳教育を推進する**
- ・ 各学年の道徳推進教師を中心に指導体制の工夫（模擬授業、TT、クロス授業、ローテーション授業、教材開発、教材の共有化、ICT 機器・デジタル教材の活用等）し、道徳教育を推進する。